



Save the Children

ミャンマー・タイ大地震

6ヶ月の活動報告：2025年9月

ミャンマーのマンダレーにあるセーブ・ザ・チルドレンが支援するシェルター（仮設住居）で娘の勉強を見守るドー・キン・ユー*さん。

2025年3月28日、マグニチュード7.7の地震と強い余震がミャンマーを襲い、3,800人以上が犠牲となり、約5,100人が負傷しました。5万棟以上の家屋が倒壊または深刻な被害を受け、発災から6ヶ月が経った今もなお、多くの子どもと家族が仮設キャンプで暮らしています。7月には激しいモンスーンの雨により洪水や地滑りが発生し、復興はさらに困難になりました。

2,600校以上の学校が被災し、6月の新学期を迎えても、何千人もの子どもたちが通える学校がない状況にありました。恐ろしい災害を目の当たりにしたことで、子どもたちのこころの健康も大きな影響を受けています。

ミャンマーでは紛争や気候危機により、**地震の発生前からすでに、人口の3分の1である1,990万人が支援を必要としていました。**作物や穀物倉庫、農業機材も被害を受け、深刻な食料不足の状況が拡大しています。道路などのインフラが損壊したことで、食料などを運ぶことさえ難しくなり、物価上昇を引き起こしています。

“

雨が降ってくる、強い風も吹くと聞いても、私には家がない。とても怖い。

-ミャンマーの少女（12歳）の声

”

このような状況にあっても、皆さまからのご寄付に支えられ、スタッフと現地パートナー団体は、食料、シェルター（仮設住居）、現金、医療、教育、精神保健・心理社会的支援を被災地に届けています。

支援活動

3月～9月にかけて、被災95郡において、約18万人（うち子ども約5万人）に支援を届けました。

基本的な支援



- 食料や医薬品など生活必需品を購入できるよう、6万人以上（1万3,000世帯）に現金給付を実施しました。
- 地震発生直後に2万9,000人に温かい食事や食料パック（米、油、豆、魚の缶詰）を提供しました。
- 1,000棟以上のシェルター（仮設住居）を設置し、2万6,000セット以上の毛布、寝具マット、蚊帳を含む緊急家庭用キットを配布しました。
- 19万人以上に清潔な飲料水を提供し、1万2,000セット以上の石鹸や歯ブラシ、生理用品を含む衛生キットを配布。地震で使えなくなってしまった水源の修復や、女性も安心して使用できるスペースのあるトイレ・浴場も新たに設置しました。

栄養支援 活動のストーリー

ミャンマーのマングレーで母親と祖母と暮らすモー・レイさん*（1歳）。セーブ・ザ・チルドレンが自宅を訪ねた際、栄養不良の状態にあることがわかりました。母親が地震により重傷を負い、大きな手術が必要になり、その間必要な栄養を十分に摂ることができなくなっていたからです。

私たちは栄養治療食を提供するとともに、祖母のドゥー・トゥーさん*に健康を保つための食事の方法をアドバイスしました。モー・レイさんは今では順調に回復しています。

写真は上腕周囲径(MUAC)でモー・レイさんの栄養状態を測定する様子

保健・栄養支援



- 5つの移動診療所を運営し、2万2,000人以上に救急医療と応急処置を提供。そのうち約1万4,000人を診察しました。
- 7,700人以上の栄養状態をスクリーニングし、1,700人以上の子どもに栄養を補うためのパウダーを提供。地域の力で栄養不良が予防できるよう、ボランティアへの研修も行いました。
- 1,300人以上の母親に授乳に関するカウンセリングを実施し、母乳育児や栄養に関する情報を提供できるよう、母子のためのスペースを2ヶ所設置しました。

子どもの保護



- 被災した子どもたちが安心して遊び、日常に近い生活を取り戻すための「こどもひろば」を47ヶ所に設置。1万4,000人の子どもが、安心・安全に過ごすことができる空間を支援しました。「こどもひろば」を利用できない地域の子どものには、おもちゃなどを届けることで、社会的・情緒的ウェルビーイングをサポートしています。
- 1万3,000人（うち子ども4,000人）に精神保健・心理社会的支援を提供しました。1人ひとりの子どもに合わせたケースマネジメントや子どもと養育者のための心理的応急処置（PFA）も実施しました。

教育支援



- 96ヶ所の一時的な学習スペースを設置し、5,000人の子どもが教育を継続できるよう支援しました。
- 文房具や本、制服や学用品などを含む学習キット約4,900セット、幼児教育キット13セット、教師用キット19セットを配布しました。
- 障害インクルーシブ教育や心理社会的支援、社会情動的学習についての研修を80人以上の教員に実施しました。
- 100校以上の建物の安全性を調査し、地域と協力して子どもたちが安全に学校に復学できるよう支援しました。



Save the Children



チェリーさん*(8歳)は、タイ北部メラ難民キャンプにあるセーブ・ザ・チルドレンが支援する学校に通っています。写真は、新学期を前に新しい学用品を買ったチェリーさんと母親のスーさん*。

© Amy Sawitta Lefevre/Save the Children

タイでの活動成果

地震の揺れは隣国タイにも及び、約600棟の家屋や多くの学校が被害を受け、特にタイ・ミャンマー国境地帯に暮らす移民や難民の子どもたちに深刻な影響を与えました。被害の大きかった北部地域では、子どもと家族に精神保健・心理社会的支援や子どもの保護に関する支援を実施し、のべ3万2,000人以上の子どもを支えました。学校87校（移民の子どもたちのための学習センター58校、難民キャンプにある学校29校）を調査・修復し、子どもたちが安全に学べるよう支援しました。地域と協力し、災害に強い学校施設になるよう整備しています。

長期的な復興に向けて

私たちセーブ・ザ・チルドレンは30年以上にわたりミャンマーの子どもたちを支援してきました。現地のパートナー団体や地域コミュニティと連携し、子どもたちとその家族が1日でも早く日常を取り戻すことができるよう支え続けます。

今後6ヶ月で30万人（うち子ども15万人）を支援することを目指し、食料、水、現金、保健・栄養支援、教育、子どもの保護、精神保健・心理社会的支援を継続していきます。しかしながら、**これまでに集まった資金は、必要額のわずか25%にとどまっています。**

ミャンマーとタイの子どもたちの今と未来を守るためには、今すぐに、さらなるご支援が必要です。引き続き、私たちのミャンマー・タイ大地震緊急子ども支援に関心をお寄せいただきますようお願いいたします。



再建中の学校の前に立つルウィンさん*とマウンチーさん*

© Save the Children

**セーブ・ザ・チルドレンの活動を支えてくださり、ありがとうございます。
いただいたご寄付は、ミャンマーとタイの子どもたちに着実に繋がっています。**



Save the Children

2025年9月発行

*プライバシー保護のため名前は変更されています

最新の活動状況はセーブ・ザ・チルドレンのウェブサイトよりご覧いただけます。

詳しくはこちらをご覧ください。

